

⑤

令和2年度

小平・村山・大和衛生組合
一般会計歳入歳出決算
審 査 意 見 書

小平・村山・大和衛生組合監査委員

小・村・大監発第9号

令和3年11月5日

小平・村山・大和衛生組合

管理者 小林洋子 殿

小平・村山・大和衛生組合

監査委員 岡村健司

監査委員 三ツ寺俊行

監査委員 高橋弘志

令和2年度小平・村山・大和衛生組合

一般会計歳入歳出決算審査意見について

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された令和2年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算を審査した結果、別紙のとおり意見を付します。

令和2年度小平・村山・大和衛生組合
一般会計歳入歳出決算審査意見書

1 審査の期日

令和3年10月27日(水)

2 審査の場所

小平・村山・大和衛生組合 4・5号ごみ焼却施設3階 大会議室

3 審査の対象

令和2年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算

4 審査の手續

この審査は、管理者から提出された一般会計歳入歳出決算、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書が、関係法規に基づいて作成されているかを確認するとともに、各計数に誤りがないかを検証するために、関係帳簿及び証拠書類と照合するとともに、事業が最も効果的に執行され、かつ、これに伴う予算が適正に執行されているかを主眼に審査したほか、必要と認められる審査手續により実施した。

5 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算、決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書については、いずれも関係法規に準拠しており、各計数についても関係帳簿、証拠書類と符合し、誤りのないものと認められた。

また、予算執行も、おおむね適正に行われていることが認められた。

審 查 所 見

令和2年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算は、対前年度比で、歳入が40.7%の減、歳出が42.4%の減である。

予算執行に当たり、市民の貴重な税金である組織市分担金を有効に活用するという認識のもと、引き続き効率的で効果的な事業運営を実施していくことを望む。

また、資金運用については、引き続き、先行きを一層注視し、安全性及び流動性を確保した上で、効率的な運用を行うことを望む。

決算における主な特徴点などは以下のとおりである。

歳入に関する概要

【1款 分担金及び負担金】

1款分担金及び負担金は、組織市3市からの分担金で、令和元年度と比較すると、小平市は、18.2%、1億8,002万7,000円増の11億6,750万5,000円で、負担率54.81%、東大和市は、12.2%、5,269万7,000円増の4億8,397万2,000円で、負担率22.72%、武蔵村山市は13.6%、5,727万6,000円増の4億7,852万3,000円で、負担率22.47%、3市の合計では、15.8%、2億9,000万円増の21億3,000万円である。

【2款 使用料及び手数料】

2款使用料及び手数料は、行政財産使用料条例に基づき徴収した組合敷地内の電柱、自動販売機等の土地及び建物使用料であり、収入済額は、5万7,960円である。

【3款 国庫支出金】

3款国庫支出金は、循環型社会形成推進交付金として、処理施設の整備事業に対して交付された国庫補助金である。当初予算に計上した6,373万7,000円を収入している。

【4款 財産収入】

4款財産収入は、職員退職手当基金、財政調整基金及び施設整備基金の利子であり、定期預金での運用を行った。当初予算97万円のところ、定期預金での運用益があったため95万1,000円の増額補正をし、収入済額は192万3,107円である。

【5款 繰入金】

5款繰入金は、財政調整基金及び施設整備基金からの繰入金として当初予算額はそれぞれ1億4,192万8,000円及び5,428万8,000円であったが、歳出の減等に伴い財政調整基金を914万5,000円減額補正し、工事出来高等に応じて施設整備基金を2,511万1,000円増額補正した。全体の収入済額は、2億1,218万2,000円となっている。

【6款 繰越金】

6款繰越金は、当初予算額2,000万円のところ、令和元年度歳計剰余金の確定に伴い4,274万7,000円を増額補正し、繰越明許費の財源として1,628万7,000円を前年度から繰り越し、予算現額を7,903万4,000円としている。収入済額は、7,903万4,147円となっている。

【7款 諸収入】

7款諸収入は、当初予算額724万1,000円のところ、施設廃材等の売払い、容器包装リサイクル協会拠出金等により3,956万7,000円を増額補正し、予算現額を4,680万8,000円としている。収入済額は5,479万9,516円となっている。

同款1項1目組合預金利子は、歳計現金の利子で、収入済額は7,188円である。対前年度比較では、71.7%、1万8,232円の減となっている。同款2項1目雑入は、鉄くず、焼鉄及びアルミくずの売払い及び、容器包装リサイクル協会拠出金等で、収入済額は5,479万2,328円である。対前年度比較では、4.1%、214万8,730円の増となっている。

【8款 組合債】

8款組合債は、新ごみ処理施設整備事業に伴う組合債である。当初予算額2億1,880万円のところ、工事出来高等に応じて1億円減額補正し、予算現額を1億1,880万円として、全額収入している。対前年度比較では、90.7%、11億5,370万円の減となっている。

以上により、歳入全体では、当初予算額26億3,700万円のところ、74万8,000円の減額補正を行い、繰越明許費に伴う財源として1,628万7,000円を前年度から繰り越し、収入済額は26億6,053万3,730円で、調定額に対する収入割合は100.0%となり、不納欠損額、収入未済額はいずれもなく決算をしている。前年度と比較すると、40.7%、18億2,332万1,208円の減となっている。

歳出に関する概要

【1款 議会費】

1款議会費は、当初予算額234万3,000円、支出済額216万8,367円、不用額17万4,633円、執行率92.5%となっている。なお、議会費では議員報酬が90.2%を占めている。

【2款 総務費】

2款総務費1項1目一般管理費は、管理者をはじめとする特別職及び一般職員の給料、職員手当、共済費等の人件費が主な内容である。当初予算額2億1,891万円のところ、職員の異動等による変動分を精査したこと、12節委託料で、契約差金が生じたことなどにより、913万5,000円の減額補正を行い、支出済額2億748万3,423円、不用額229万1,577円、執行率98.9%となっている。

同項2目財産管理費は、建物及び庁用車の保険料、土地借上料、基金積立金が主な内容となっている。当初予算2億4,956万円のところ、令和元年度歳計剰余金の確定、及び容器包装リサイクル協会拠出金を積み立てるため24節積立金を増額するなど、全体では5,908万8,000円の増額補正を行っている。支出済額3億821万4,484円、不用額43万3,516円、執行率99.9%となっている。

同款3項1目余熱利用施設費は、こもれびの足湯の運営に伴う清掃用消耗品、光熱水費、建物損害保険料、施設維持管理業務委託費、設備補修費などが主な内容となっている。当初予算695万円、12節委託料で、足湯の休場による77万7,000円の減額補正を行い、支出済額549万721円、不用額68万2,279円、執行率88.9%となっている。

2款総務費全体では、当初予算額4億7,617万8,000円のところ、合計4,917万6,000円の増額補正により、予算現額を5億2,535万4,000円としている、支出済額5億2,194万4,274円、不用額340万9,726円、執行率99.4%となっている。

【3款 塵芥処理場費】

3款塵芥処理場費1項2目塵芥処理維持管理費は、施設の修繕・工事、最終処分場への焼却残渣の運搬等の業務、ごみ焼却施設及び不燃・粗大ごみ処理施設の運転業務等、ごみ処理施設の運営・維持管理に要した経費が計上されている。当初予算14億7,414万8,000円のところ、12節委託料で、不燃ごみ・粗大ごみの搬入量の増に伴う破碎残渣の再資源化委託料の増額など、全体で3,211万1,000円を増額補正したことにより、予算現額を15億625万9,000円としている。支出済額14億1,444万3,910円、不用額9,181万5,090円、執行率93.9%

となっている。

同項3目資源物処理維持管理費は、資源物中間処理施設の運転業務、選別後の残渣の運搬業務等、資源物中間処理施設の運営・維持管理に要した経費が計上されている。当初予算2億6,896万1,000円のところ、機器等保守整備委託料の減額などにより、945万6,000円を減額補正し、予算現額を2億5,950万5,000円としている。支出済額2億5,067万2,311円、不用額883万2,689円、執行率96.6%となっている。

同款2項1目塵芥処理場建設費は、施設の整備・更新に係る調査、工事等に要した経費が主な内容である。当初予算3億9,515万4,000円のところ、前年度からの繰越明許費1,628万7,000円を加え、14節工事請負費で、新ごみ処理施設建設工事について、設計協議を経た当年度の出来高に応じて支払額を減額するなどにより、7,191万9,000円を減額補正し、予算現額を3億4,056万7,000円としている。支出済額3億4,042万7,008円、不用額13万9,992円、執行率99.96%となっている。

3款塵芥処理場費全体では、当初予算額21億3,873万1,000円のところ、合計4,926万4,000円減額補正し、前年度からの繰越明許費1,628万7,000円、予備費充当104万5,000円と合わせて、予算現額を21億679万9,000円としている。支出済額20億576万5,372円、不用額1億103万3,628円、執行率95.2%となっている。

【4款 公債費】

4款公債費は、3市共同資源物処理施設整備事業、及び不燃・粗大ごみ処理施設整備事業の起債に対する元金及び利子の償還に要した経費で、当初予算額767万6,000円のところ、66万円の減額補正により、予算現額を701万6,000円とし、支出済額701万4,988円となっている。

【5款 予備費】

5款予備費は、当初予算額1,207万2,000円のところ、予備費充当104万5,000円、予算現額1,102万7,000円となっている。

以上、予備費を含めた歳出合計は、当初予算額26億3,700万円のところ、差し引き合計74万8,000円の減額補正をし、前年度繰越明許費1,628万7,000円と合わせて予算現額を26億5,253万9,000円としている。支出済額25億3,689万3,001円、不用額1億1,564万5,999円、執行率95.6%をもって事業が執行されている。

補正予算について

補正予算の措置については、以下の内容で2回行っている。

補正予算（第1号） ー令和2年11月20日 11月定例会 ー

歳入では、歳出の増に伴い、5款1項1目財政調整基金繰入金を2,702万6,000円増額し、令和元年度歳計剰余金の確定に伴い、6款1項1目繰越金を4,274万7,000円増額している。

歳出では、令和元年度歳計剰余金の確定に伴い、その2分の1を財政調整基金に積み立てることにより、2款1項2目財産管理費24節積立金を2,137万3,000円増額している。

3款塵芥処理場費1項2目塵芥処理維持管理費では、12節委託料で、破碎残渣の増により再資源化委託料を、発熱・発火する危険性が高いリチウムイオン電池などを適正かつ安全に処理するためプラント運転委託料を、合計で4,840万円増額している。

補正予算（第2号） ー令和3年2月17日 2月定例会 ー

新ごみ焼却施設で発電した電力の売電に当たり、必要となる特別高圧線を引き込むための工事について、年度内に契約を行うため、債務負担行為を追加している。

歳入では、2款1項1目総務使用料では、不燃・粗大ごみ処理施設内に新たに設置された自動販売機1台分の使用料2万1,000円を増額している。4款1項1目利子及び配当金では、定期預金による運用益があったことにより95万1,000円増額している。5款1項1目財政調整基金繰入金では、歳出の減により3,617万1,000円減額している。2目施設整備基金では、起債限度額が減額となったことにより、2,511万1,000円増額している。7款2項1目雑入では、施設廃材などの売り払いがあったことなどによる204万円の増額のほか、容器包装リサイクル協会拠出金3,752万7,000円を増額している。

歳出では、2款総務費1項1目一般管理費では、職員の異動等による変動分を精査したことに伴い、1節報酬、2節給料、3節職員手当等及び4節共済費で差し引き合計284万円を減額し、8節旅費、10節需用費、11節役務費、12節委託料、及び13節使用料及び賃借料で、実績が見込みより下回ったこと、契約差金が生じたことなどにより合計564万5,000円を減額している。

18節負担金、補助及び交付金では、えんとつフェスティバルの中止により、補助金65万円を減額している。

同項2目財産管理費では、11節役務費で、損害保険料が見込みを下回ったため減額し、13節

使用料及び賃借料で、土地借上料が見込みを下回ったため減額している。24節積立金で、容器包装リサイクル協会拠出金を財政調整基金に積み立てることなどにより3,850万2,000円増額している。

3項1目余熱利用施設費では、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のための足湯の休場に伴い、施設管理業務委託料を77万7,000円減額している。

3款塵芥処理場費1項2目塵芥処理維持管理費では、10節需用費で、不燃・粗大ごみ処理施設のための臨時受電が、短期間で完了できたことにより、電気料金を1,245万円減額している。

12節委託料では、解体する施設の清掃作業の一部と薬品の処分を、次年度に実施することとしたこと等により、376万3,000円の減額をしている。26節公課費では、大気汚染負荷量賦課金を減額している。

同項3目資源物処理維持管理費では、10節需用費で、上下水道の使用量が少なかったことにより、光熱水費を129万円減額し、12節委託料で、プラントメーカーの総合点検の結果を踏まえ、保守点検整備業務の一部を実施しないこととしたこと等により、816万6,000円減額している。

同款2項1目塵芥処理場建設費では、12節委託料で、新ごみ処理施設建設工事工事監理業務委託の契約差金が生じたことにより233万2,000円減額している。14節工事請負費で、新ごみ処理施設建設工事について、設計協議を経た出来高に応じて、6,398万9,000円減額している。18節負担金、補助及び交付金で、小平市道第A-3号線の移設に伴う東京都水道局による水道管の移設について、工事費の確定後、東京都から差額の返金があったため、559万8,000円減額している。

4款公債費では、令和元年度に借り入れた起債について、当初見込んでいた借入利率を下回る利率となったことにより、66万円減額している。

ごみ処理施設の補修工事等について

3款1項2目塵芥処理維持管理費14節工事請負費のうち、3号ごみ焼却施設及び4・5号ごみ焼却施設では、両焼却施設計で23件の工事を行い、合計4億1,140万円を支出した。

不燃・粗大ごみ処理施設では1件の工事を行い、工事請負費全体では、25件の補修工事等を実施し、総額4億2,113万5,000円を支出している。

業務委託について

令和2年度の塵芥処理維持管理費の業務委託の中で主要なものとしては、ごみ焼却施設の運転2億6,347万2,000円、廃棄物の運搬等1億101万9,600円、不燃・粗大ごみ処理施設の運転8,965万円などである。

委託内容別に見ると、処理・処分等委託では、前掲の廃棄物の運搬等のほか、破碎残渣1億6,657万7,895円、小型家電1,481万2,600円、投入監視・計量業務864万2,700円、などがあり、合計2億9,897万9,500円を支出している。

施設等維持管理委託では、プラント運転として、前掲のごみ焼却施設及び不燃・粗大ごみ処理施設の運転、処理場清掃業務として、炉内・煙突・汚水槽等の清掃委託で3,600万7,400円、合計3億8,912万9,400円を支出している。

測定等委託では、環境測定及びダイオキシン類等測定を行い、合計で863万6,100円を支出している。

機器等保守整備委託では、機器保守点検に4,035万6,085円を支出している。

塵芥処理維持管理費の委託料全体では、合計7億3,710万1,085円を支出している。

資源物処理維持管理費では、処理・処分等委託として、主に廃棄物の運搬等1,768万8,000円、容器包装再商品化183万5,832円など、1,976万4,182円、施設等維持管理委託では、主に資源物中間処理施設運転1億9,800万円、清掃業務198万円などで、2億73万5,040円、測定等委託では、臭気測定、搬入物展開検査など207万3,500円、機器等保守整備委託では、クレーン点検、エレベータ保守など907万94円を支出している。

資源物処理維持管理費の委託料全体では、合計2億3,164万2,816円を支出している。

組合債について

4款公債費1項1目元金では、489万5,759円、同項2目利子では、起債元金に対する利子で、211万9,229円の支出を行っている。

決算年度末の未償還額は、平成28年度から令和2年度起債分の元金31億7,050万4,241円、利子1,867万8,017円、合計31億8,918万2,258円となっている。

財産について

公有財産の土地及び建物では、建物について、粗大ごみ処理施設の解体に伴い、1,681.89㎡減となっている。物品については、増減はない。

3つある基金のうち、職員退職手当基金については、組合固有職員の年間給料の8%相当額と利子分を合わせて積み立てを行っている。決算年度中の増減額は、積立金156万9,000円、利子分等3万5,000円、合計160万4,000円を積み立て、決算年度末現在額は3,643万2,000円となっている。

財政調整基金は、令和元年度繰越金の一部3,137万3,574円、容器包装リサイクル協会からの拠出金の一部3,752万6,558円、利子分37万1,868円、合計6,927万2,000円を積み立て、1億3,278万3,000円の繰り入れを行い、決算年度末現在額は3億835万7,000円となっている。

施設整備基金は、分担金の施設整備基金部分1億5,300万円、及び利子分等151万7,000円、合計1億5,451万7,000円を積み立て、7,939万9,000円の繰り入れを行い、決算年度末現在額は27億1,935万1,000円となっている。

運用については、すべての基金において、大口定期預金を利用して運用を図っている。

その他の現金については、指定金融機関等において保管、運用されている。

参 考 资 料

目 次

1	決算の規模	1
2	資金の状況	2
3	小平・村山・大和衛生組合一般会計	
	(1) 歳入	
	第1款 分担金及び負担金	3
	第2款 使用料及び手数料	3
	第3款 国庫支出金	3
	第4款 財産収入	3
	第5款 繰入金	4
	第6款 繰越金	4
	第7款 諸収入	4
	第8款 組合債	4
	(2) 歳出	
	第1款 議会費	5
	第2款 総務費	5
	第3款 塵芥処理場費	5
	第4款 公債費	5
	第5款 予備費	5
4	財産に関する調書	
	(1) 公有財産	6
	(2) 物 品	6
	(3) 基 金	6

1 決算の規模

令和2年度決算の概要は、次のとおりである。

区 分	歳 入	歳 出	歳入歳出差引額	翌年度に繰り越すべき財源	実 質 収 支
令和2年度	2,660,533,730 円	2,536,893,001 円	123,640,729 円	0 円	123,640,729 円
令和元年度	4,483,854,938 円	4,404,820,791 円	79,034,147 円	16,287,000 円	62,747,147 円

令和2年度の決算額は、歳入26億6,053万3,730円、歳出25億3,689万3,001円、翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支1億2,364万729円である。

対前年度比は、歳入が40.7%の減、歳出が42.4%の減である。

歳入では、1款分担金及び負担金、2款使用料及び賃借料、7款諸収入は増となっており、これら以外は減となっている。

歳出では、4款公債費が増となっているほかは、いずれも減となっている。

2 資金の状況

単位:円

区 分	第1四半期 (4月～6月)	第2四半期 (7月～9月)	第3四半期 (10月～12月)	第4四半期 (1月～3月)	出納整理期間 (4月～5月)	合 計
前期残 (A)	-	436,367,020	421,503,234	546,962,137	600,373,731	-
取 入 (B)	738,733,033	535,060,885	532,012,992	851,055,554	3,671,266	2,660,533,730
支 出 (C)	302,366,013	549,924,671	406,554,089	797,643,960	480,404,268	2,536,893,001
(A)+(B)-(C)= (D)	436,367,020	421,503,234	546,962,137	600,373,731	123,640,729	-
資金融通	借 (E)	-	-	-	-	-
	繰戻 (F)	-	-	-	-	-
資金融通	貸 (G)	-	-	-	-	-
	繰戻 (H)	-	-	-	-	-
一時借入金	借入 (I)	-	-	-	-	-
	返済 (J)	-	-	-	-	-
繰 越 金 (K)	436,367,020	421,503,234	546,962,137	600,373,731	123,640,729	123,640,729

出納閉鎖時における収入済額は、26億6,053万3,730円、支出済額は、25億3,689万3,001円、歳入歳出差引額1億2,364万729円が翌年度に繰越されている。

主な収入として、第1四半期は組織市からの分担金6億5,900万円、及び前年度繰越金(繰越事業費充当分含む)7,903万4,147円、第2四半期は分担金5億3,000万円、第3四半期は分担金5億3,000万円、第4四半期は分担金4億1,100万円、基金繰入金2億1,218万2,000円、組合債1億1,880万円、国庫補助金6,373万7,000円が収入されている。

主な支出としては、第2四半期に、新ごみ処理施設建設工事1億570万円、第4四半期に、5号炉バグフィルターろ布取替等補修工事1億1,744万7,000円、出納整理期間に、新ごみ処理施設建設工事1億3,178万7,000円、それ以外の支出では、全期間をとおして経常的な経費が主なものである。

当年度の資金運用の利子は、職員退職手当基金3万4,828円、財政調整基金37万1,868円、施設整備基金151万6,411円の計192万3,107円で、適切に運用が図られている。

3 小平・村山・大和衛生組合一般会計

(1) 歳入

1款 分担金及び負担金

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
2,130,000,000 円	1,840,000,000 円	290,000,000 円	15.8 %

① 令和2年度分担金額及び負担率

区分 市別	分担金の負担率	分担金額	備考	
			ごみ搬入量 (平成30年度実績)	資源物搬入量 (令和2年度計画搬入量)
小平市	54.81 %	1,167,505,000 円	40,601.41 t	2,740.00 t
東大和市	22.72	483,972,000	15,172.85	1,083.00
武蔵村山市	22.47	478,523,000	15,486.96	852.00
計	100.00	2,130,000,000	71,261.22	4,675.00

② 分担金の性質別内訳

区分	令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度増減額
人件費	187,507,895 円	200,588,067 円	△ 13,080,172 円
物件費	1,266,469,093	938,830,236	327,638,857
維持補修費	471,156,165	501,134,749	△ 29,978,584
扶助費	1,480,000	1,195,000	285,000
補助費等	19,939,530	2,522,506	17,417,024
普通建設事業費	36,713,200	1,583,300	35,129,900
公債費	7,014,988	1,735,551	5,279,437
積立金	139,719,129	192,410,591	△ 52,691,462
合計	2,130,000,000	1,840,000,000	290,000,000

2款 使用料及び手数料

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
57,960 円	31,086 円	26,874 円	86.5 %

3款 国庫支出金

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
63,737,000 円	767,111,000 円	△ 703,374,000 円	△ 91.7 %

4款 財産収入

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
1,923,107 円	3,036,133 円	△ 1,113,026 円	△ 36.7 %

5款 繰入金

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
212,182,000 円	440,654,000 円	△ 228,472,000 円	△ 51.8 %

6款 繰越金

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
79,034,147 円	107,853,701 円	△ 28,819,554 円	△ 26.7 %

7款 諸収入

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較		
		増減額	増減率	
54,799,516 円	52,669,018 円	2,130,498 円	4.0 %	
預金利子	7,188	25,420	△ 18,232	△ 71.7
雑入	54,792,328	52,643,598	2,148,730	4.1

雑入内訳

区 分	令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度増減額
アルミくず売払い	371,413 円	325,634 円	45,779 円
アルミ流れ売払い	193	693	△ 500
鉄くず売払い	2,867,466	3,389,424	△ 521,958
破碎鉄くず売払い	2,880,588	2,381,224	499,364
焼鉄くず売払い	833,051	3,290,192	△ 2,457,141
施設廃材等売払い	1,843,918	1,194,989	648,929
有価物(廃家電等)売払い	493,054	722,943	△ 229,889
小型家電等売払い	0	7,561	△ 7,561
古紙の売払い	6	7,640	△ 7,634
情報公開電子複写代	20	0	20
全国市長会任意共済制度事務費	41,605	45,852	△ 4,247
消費電気料	100,672	66,120	34,552
容器包装リサイクル協会拠出金	44,233,691	40,186,276	4,047,415
焼却灰中の硬貨の換金分	0	52,552	△ 52,552
放射能測定に要した費用の賠償金	902,520	894,240	8,280
都市ガス等使用に伴う請求分	62,225	19,039	43,186
雇用保険料	73,906	59,219	14,687
建物災害共済金	88,000	0	88,000
計	54,792,328	52,643,598	2,148,730

8款 組合債

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
118,800,000 円	1,272,500,000 円	△ 1,153,700,000 円	△ 90.7 %

(2) 歳 出

1款 議会費

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
2,168,367 円	2,555,430 円	△ 387,063 円	△ 15.1 %

主な増減

・旅費の減	……………	△ 227,986 円
・使用料及び賃借料の減	……………	△ 200,256 円

2款 総務費

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
521,944,274 円	546,405,709 円	△ 24,461,435 円	△ 4.5 %

主な増減

・給料・手当・共済費の減	……………	△ 10,311,336 円
・積立金の減	……………	△ 10,240,000 円

3款 塵芥処理場費

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
2,005,765,372 円	3,854,124,101 円	△ 1,848,358,729 円	△ 48.0 %

主な増減

・委託料(塵芥処理維持管理費)の増	……………	251,215,613 円
・工事請負費(施設整備)の減	……………	△ 2,075,113,140 円

4款 公債費

令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度比較	
		増減額	増減率
7,014,988 円	1,735,551 円	5,279,437 円	304.2 %

公債費償還額

	元 金	利 子	合 計
財政融資資金等	4,895,759 円	2,119,229 円	7,014,988 円

5款 予備費

区 分	令和2年度決算額	令和元年度決算額	対前年度増減
予備費支出額	1,045,000 円	0 円	1,045,000 円
件 数	2 件	0 件	2 件

4 財産に関する調書

(1) 公有財産

土地	10,204.84 m ²	対前年度増減なし
建物	17,096.57 m ²	対前年度1,681.89m ² 減

(2) 物品(50万円以上)

普通乗用車等	12台	対前年度増減なし
--------	-----	----------

(3) 基金

基金の年度中増減額

職員退職手当基金	1,604,000 円
財政調整基金	△ 63,511,000
施設整備基金	75,118,000
計	13,211,000

基金の決算年度末現在高

職員退職手当基金	36,432,000 円
財政調整基金	308,357,000
施設整備基金	2,719,351,000
計	3,064,140,000